

第24回東大阪プロジェクト

縁起でもない話をしよう会

@東大阪

悲嘆(グリーフ)と そのケアについて

話題提供者



大岡 友子 氏

(おおおかともこ)

臨床心理士、公認心理師
ファイナンシャルプランナー

がん研究会有明病院腫瘍精神科家族・遺族ケア外来
武蔵野大学心理臨床センター・認知行動療法研究所
柏駅前なかやまメンタルクリニック遺族ケア外来
グリーフ・トラウマカウンセリングこころの相談室ベルビュー

自己紹介

思春期に父を亡くし、ひとり親家庭で育ちました。大学卒業後、損害保険会社に入社。40代で母と夫を立て続けに亡くして、遺族ケア(グリーフケア)の重要性を痛感しました。夫との死別から5年後、26年間勤務した会社を早期退職し、専門的な遺族ケアを学ぶため大学院に入学、修了、臨床心理士・公認心理師資格を取得しました。現在は、複雑性悲嘆(遷延性悲嘆症)治療を研究、実践する傍ら、病院やメンタルクリニックの遺族ケア外来などでカウンセリングを行っています。

概要

大切な何かを喪失すると、人は悲嘆(グリーフ)を経験することになります。大切な人や物を失ったことによって引き起こされる苦しい心の状態や反応を悲嘆といいます。悲嘆はごく自然なことなのですが、時として悲しみが長引いて、複雑性悲嘆(遷延性悲嘆症)と言われる状態になることがあります。大切な人が亡くなったとき、私たちにどのようなことが起こるのか、どのようにして対処したらよいか、複雑性悲嘆(遷延性悲嘆症)になるのはどのような場合なのか、当事者であり、遺族ケアを専門とする心理職でもある立場から、お話をさせていただきます。皆様方には、社会の中で遺族ケアはどうあるのが望ましいのか、一緒に考えていただければと思います。

後半は、話題提供を受けての語り合いの時間になります。5名程度のグループとなりテーマをもとに縁起でもない話をさせていただきます。

(司会進行) 札幌生理事習
インストラクターの会 理事 田中 博

令和5年

2月28日 火

19:30-21:00



川邊正和



福村雄一

みなさまとお会いできるのを
楽しみにしています

参加申込方法

FREE zoom

職種は問いません
ご興味をお持ちの方は
右記QRコードから
お申し込みください



出会うことで人が動き出し、ともに未来を変える
～穏やかなエンディングをみんなで～

主催：東大阪プロジェクト

